

斜里高等学校魅力化向上アンケート結果について

1. 調査の概要

項目	内容
調査の背景 ・目的	町内唯一の高等学校である「北海道斜里高等学校」は、現在1学年 8 名、2 学年 27 名、3 学年 31 名の合計 66 名が在籍しているが、令和 8 年度の入学者数の急激な減少を受けて、「なぜ選ばれないのか」という現状の課題と、「どうなれば選びたくなるか」という期待される価値の両面を浮き彫りにすることが必要となった。 中学生及び保護者の進学意向や高校選択の要因等を把握し、斜里高等学校の魅力化向上に向けた施策検討の基礎資料(エビデンス資料)とすることを目的とし、アンケート調査を実施する。
調査対象	・斜里中学校 1～3 年生、知床ウトロ学校 7～9 年生 ・上記生徒の保護者（同一学校に複数の兄弟姉妹が在籍している場合は、一番上の学年の生徒について回答）
調査期間	令和 8 年 6 月 16 日(火) ～ 6 月 30 日(火)
調査方法	Google フォームへの入力による WEB アンケート調査
回答数(生徒)	計 230 人／265 人中(回答率 86.8%) 1 年生 73 人／83 人中(回答率 87.9%)、2 年生 62 人／80 人中(77.5%)、3 年生 95 人／102 人中(93.1%)
回答数(保護者)	140 人／265 人中(回答率 52.8%)
調査内容	高校進学希望、進路意識、高校選択で重視する事項、斜里高校に対する認知度・評価、必要な支援等

2. 調査結果の概要

(1) 高校進学希望(生徒の第一希望校)

学年	第一希望校					
	斜里高校		斜里高校以外		未定	
中 1	3 人	4.1%	53 人	72.6%	17 人	23.3%
中 2	7 人	11.3%	44 人	71.0%	11 人	17.7%
中 3	11 人	11.6%	71 人	74.7%	13 人	13.7%

※凡例：中1＝中学1年生＋義務教育学校7年生 など

- ・全学年を通じて「斜里高校以外」を第一希望とする割合が約 7 割を占めた。
- ・「斜里高校」を第一希望とする割合は 1 割前後にとどまった。
- ・学年が上がるにつれて進路が具体化する一方、斜里高校以外への志向は大きく変化していない。

(2) 高校選択で重視すること

	高校選びで重視する項目(上位)	
	生徒	保護者
1	高校卒業後の進路実績	高校卒業後の進路実績
2	学校生活の自由度	部活動の数や実績
3	部活動の数や実績	通学時間
4	通学時間	学科の種類
5	施設・設備の充実度	学校規模

- ・生徒・保護者ともに「進路実績」を最も重視している。
- ・生徒は学校生活の自由度や部活動を重視する傾向がみられる。
- ・保護者は進路実績に加え、学校規模や通学環境を重視している。

(3) 斜里高校に対する認知状況

生徒が知っている斜里高校の取組

- ・「台湾への修学旅行」
- ・「知床学」
- ・「選択科目による進路対応」

一方で、「斜里高校について知っていることがない」との回答は、

- ・中学1年生では、約26.0%(19人)
- ・中学2年生では、約24.2%(15人)
- ・中学3年生では、約13.7%(13人)

であり、下級生に対する情報発信が十分に浸透していない状況がうかがえる。

(4) 斜里高校に期待する取組

	生徒 「斜里高校に行きたいと思える条件」として回答した項目(上位)	保護者 期待する取組(上位)
1	校内にカフェのような自習スペースの設置	子どもがやりたいことをできる環境
2	希望する部活動の設置・充実	希望する部活動の設置・充実
3	放課後に学習できる公設塾	給食の提供
4	新たな人間関係の広がり	新たな人間関係の広がり
5	自分がやりたいことができる環境	学習環境の充実、放課後の公設塾、生徒の居場所づくり

(5) 斜里高校を志望しない理由

自由記述では、主に次のような意見が多く見られた。

学力・進路面	・より偏差値の高い高校へ進学したい ・希望する学科がない ・進学実績に不安がある
学校イメージ	・学校の雰囲気や評判への不安 ・生徒指導に関する不安 ・在校生の印象に対する懸念
学校規模・部活動	・生徒数が少ない ・希望する部活動がない ・部活動の実績が少ない
地域性	・町外で新しい環境を経験したい ・北見市や札幌市等の高校へ進学したい

3 主な考察

- ・生徒・保護者ともに高校選択において「進路実績」を最重視していることから、「進学・就職実績」や「進路支援体制」の積極的な情報発信（見える化）が必要である。
- ・斜里高校の特色ある教育活動（知床学、少人数指導、指定校推薦等）は一定程度認知されているものの、特に中学 1・2 年生への周知が不足している。
- ・カフェのような自習スペース、希望する部活動、公設塾、給食の提供など、学習・学校生活環境の充実に対する期待が高い。
- ・斜里高校を志望しない理由として、「学校イメージ」「学力」「部活動」が多く挙げられている。特に、自由記述で最も多かったのは、「偏差値が低い」「学校の雰囲気が悪い」という内容であり、口コミなどによるイメージが先行している状況。そのイメージが斜里高校の選択へ大きく影響している。
- ・今後は、斜里高校の教育活動や進路実績の周知強化に加え、生徒が魅力を感じる教育環境づくりと保護者の安心につながる学校づくりの推進、斜里高校に対するイメージ向上が課題である。